

令和7年度

学校経営方針

上尾市立東中学校長

令和7年度

上尾市立東中学校 学校経営方針

校長 石田 賢一

令和7年度のキャッチフレーズ

学 ぶ 喜 び を 感 じ よ う

学習は、単なる義務や課題ではなく、楽しみや喜びを伴うものである。生徒が学ぶことの楽しさを感じることで、学びへのモチベーションが自然と高まり、主体的に学ぶ姿勢が育つ。キャッチフレーズ「学ぶ喜びを感じよう」を学校全体の文化として位置づけ、学びの楽しさを共有する風土を作り上げることを目指す。全教職員が一丸となって、生徒が学ぶ喜びを感じられる環境を提供していく。

また、学ぶ喜びを感じるのは生徒だけでなく、教職員にも当てはまる。教育者としてのキャリアは、継続的な学びと成長が求められており、新しい知識やスキルを習得することで、教職員が自分自身の成長と達成感を感じることができる。東中学校が向上心をもって学び続ける教職員集団となることを目指す。

1 学校経営の基本理念 ー個性を尊重し、未来を創る力を育む教育ー

これからの社会を創り出していく生徒達が、情報化やグローバル化などの急激な社会的変化の中で、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力は何かを教育課程において明確化し育てていくことが必要である。そのために、生徒一人一人の個性を認め大切にし、その能力を伸ばす教育の実現を目指す。

2 学校教育目標

『 志をもって学ぶ たくましい心と体の 東中生 』

- 「志をもって学ぶ」とは、将来の夢や目標を明確に持ち、それに向かって積極的に学び続けることである。
- 「たくましい心と体」とは、人生100年時代の基礎となる健康な体をつくとともに、困難に立ち向かい、自己を成長させるための力強さや耐久性を身に付けることである。

3 目指す学校像、生徒像、教師像

(1) 目指す学校像

- 新しい時代 (Society5.0) に求められる生きる力<資質・能力>を育成できる学校
- 生徒全員の学ぶ喜びを育む学校
- 保護者・地域の人々と共に創り上げ、絆を育む学校

(2) 目指す生徒像 【東中学校区共通】

- 自分自身で考え、主体的に学ぶ児童生徒
- 心豊かで、自他共に大切にできる児童生徒
- 心身共に健康で、たくましい児童生徒

(3) 目指す教師像

- 謙虚な姿勢で、自らの言動を振り返る教師
- 生徒・保護者の心に寄り添い温かく人間関係を築く教師
- 自らの「人間性」を磨き続け、向上心をもち、学び続ける教師

4 具体的な方策

(1) カリキュラム・マネジメントの確立(全教科を通して育む資質・能力)

- ①問題解決力を育む学習活動
- ②コミュニケーション能力の向上
- ③主体性・協働性の促進
- ④情報活用能力の育成
- ⑤多様性への理解を深める教育
- ⑥情報を分析し、根拠に基づいて判断する能力の育成

(2) 社会に開かれた教育課程の実現(保護者、地域と協働で進める学校づくり)

- ①地域との共生意識の醸成
- ②地域の人々との学びや体験型学習の推進
- ③学校からの情報発信ネットワークの充実
- ④地域人材の活用
- ⑤地域貢献活動の推進

(3) 自立する力の育成

- ①自己理解と目標設定
- ②責任感と自己管理能力
- ③柔軟性と問題解決能力
- ④他者との協力とコミュニケーション能力

(4) たゆまぬ研鑽と「チーム東」としての指導体制の確立

- ①定期的な研修と学び合いの機会の確保
- ②情報共有と協力の促進
- ③チームビルディングとモチベーションの向上

(5) 安心・安全できれいな学習環境の確立

- ①清掃、衛生教育、設備点検の徹底
- ②安全対策の徹底
- ③心理的な安心感の提供

(6) 「シティズンシップ教育」(GCE)の推進

- ①社会参画意識とグローバルな資質を育み、持続可能な未来を創る力を養成
- ②総合的な学習を基盤に、カリキュラムを統合的に編成・実践
- ③生徒一人ひとりの社会参画意識の向上とグローバルシティズンとしての資質・能力の育成
- ④社会における諸課題の背景理解と解決に主体的に関わりとし、持続可能な社会を目指す資質の育成
- ⑤多様な他者と協働できる力の習得

(7)小中一貫教育の推進

- ①小中一貫教育に係る目標の設定
- ②学びの連続性を確保するための教育課程・指導形態の工夫・改善
- ③教育活動における連続性の確保
- ④教職員間による連携・協働
- ⑤家庭・地域との連携・協力

5 令和7年度の重点・努力点

(1)学力向上 …生徒が「学ぶ喜びを感じる」

- ①生徒の興味・関心を活かした授業
- ②学びのアウトプットを重視した授業
- ③学びの「見える化」
- ④成功体験を積ませる
- ⑤「なぜ？」を大切にする問いかけ
- ⑥協働学習の更なる推進
- ⑦ICTの活用
- ⑧生徒のやる気を伸ばす評価の工夫

(2)不登校対策

- ①スペシャル・サポート・ルーム（SSR）の活用
- ②教育相談部会の充実
- ③特別支援教育の充実（A・Bプランの活用）
- ④関係機関との連携

(3)生徒指導

- ①いじめ対策（未然防止・早期発見・早期対応）
- ②組織的生徒指導体制の充実
- ③時代にマッチした制服の制定（2カ年計画）

(4)働き方改革の推進…「組織改革」

- ①校内組織の改革（分業と役割分担の見直し）
- ②更なる業務の見直しと削減（行事等の見直し）
- ③部活動の負担軽減（地域クラブの活用）
- ④メンタルヘルスと労働時間の管理

(5)小中一貫教育

- ①小中一貫教育に係る目標設定
- ②教育課程の捉え直し
- ③小中の連携強化
- ④もくもく清掃の徹底

(6)コミュニティ・スクールの充実

- ①創立50周年記念式典の実施
- ②生徒との交流
- ③学校や地域の課題の解決
- ④地域への情報発信